



新大橋

水都・松江の風情を彩り、
新しいふるさとの原風景をつくる橋





大橋川は、^{だけさん}嵩山や^{わくらやま}和久羅山の山並みと秀峰・大山を背景に、柳そよぎ情緒あふれるまちなみと一体となった水都・松江を代表する水辺です。この川に架かる松江大橋と新大橋は、伝統と未来を担う両輪のような関係として、永く市民の暮らしを支え、大橋川の風景を形作ってきました。

このたび、架橋から80年以上が経つ新大橋は、大きな地震への対応と歩きやすい歩道の実現のため、大橋川の改修に合わせて、新しい橋へと架け替えることになりました。

新しい新大橋の設計にあたっては、水都・松江の風情を彩る現代的で佳麗な^{かれば}姿と、渡りやすく^{たたず}佇みたくなる歩行空間、まちと水辺の回遊性を高める橋詰空間を備えたデザインとします。

これにより、通学時に眺めた朝靄に煙る^{あさもや}姿や、家族と河岸から眺めた青空に映える姿というように、大橋川周辺が市民ひとりひとりの原風景となり、ふるさと・松江への愛着と、まち全体の魅力をより高めるような橋を目指します。

※注 佳麗な=整って美しいさまをあらわす

整備基本方針

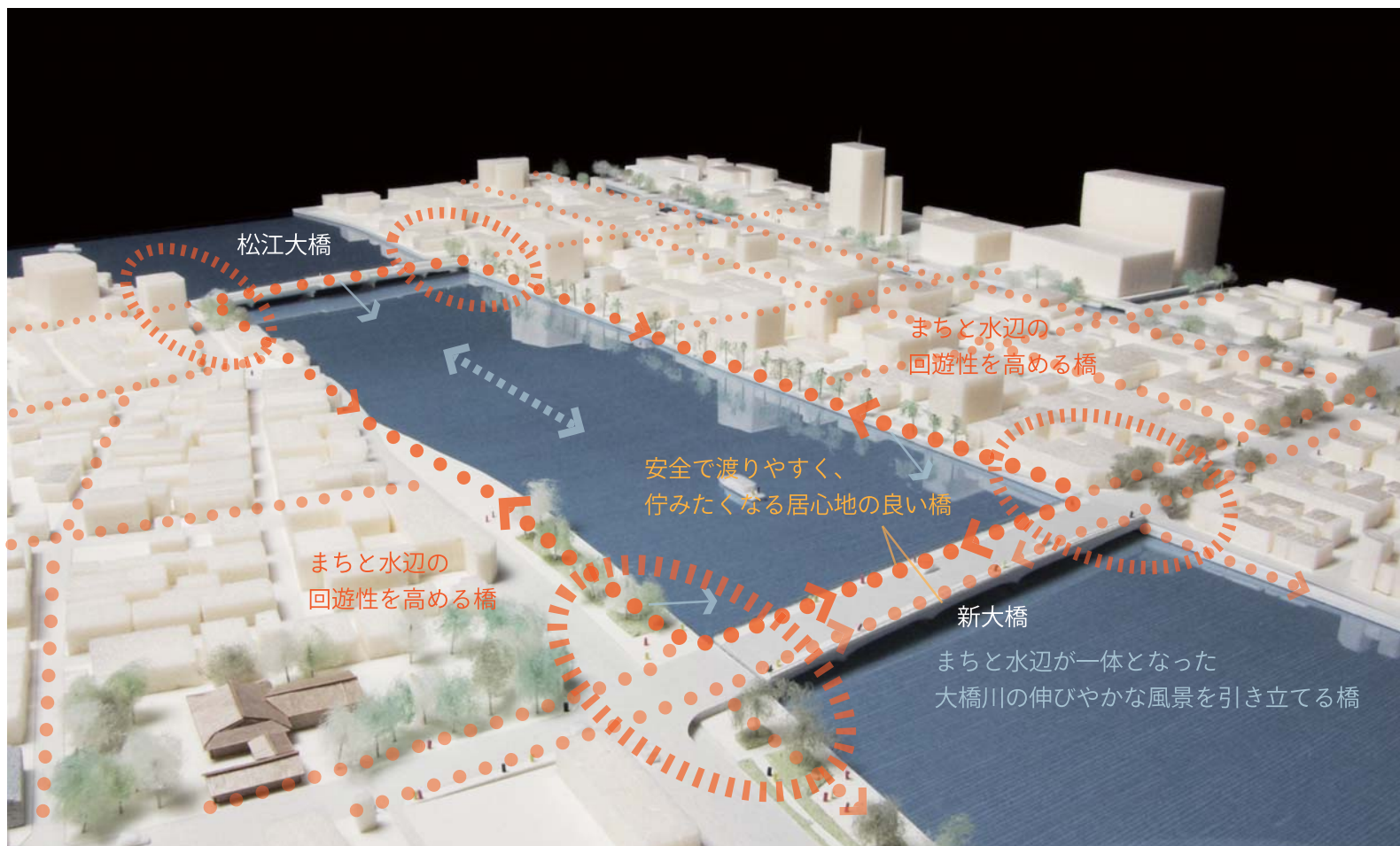
テーマ

『水都・松江の風情を彩り、
新しいふるさとの原風景をつくる橋』

コンセプト

計画上大切にすべき3つの柱

- ・まちと水辺が一体となった大橋川の伸びやかな風景を引き立てる橋
- ・安全で渡りやすく、佇みたくなる居心地の良い橋
- ・市民の居場所となる水辺空間や川沿いのまちへの回遊性を生み出す橋



01 | 全体方針

- ・新大橋と松江大橋の関係性を際立たせるよう、城下町の雰囲気を受け継ぐ松江大橋に対して、新大橋はまちの新たな賑わいにつながる、モダンなデザインの橋とします。
- ・長い年月を経ても見飽きない橋とします。
- ・松江大橋や大橋川の両岸など重要な視点場に囲まれているため、眺める場所（距離・角度）や時間帯によって、異なる表情を楽しめるデザインとします。
- ・遠景では大橋川の風景になじむシンプルで美しい形態と、近景では洗練された意匠とを持ち合わせ、訪れた人が渡ってみたい橋とします。
- ・橋詰付近には、座って橋と水辺の風景を眺められるような溜まり空間をつくりまします。

02 | 橋梁本体のデザイン

- ・水辺やまちの風景が主役になるように、路面より上部に構造がなく、風景のスケールに合う橋梁形式（桁橋）とします。
- ・大橋川に対し左右対称であり、水平方向の伸びやかさと水面の近さとを両立する側面シルエットとします。
- ・歩行者や自転車が渡りやすいよう、路面高さを低く抑える工夫をします。

03 | 橋上空間のデザイン

- ・安全で歩きやすく、どこでも佇みたくくなるような居心地の良い空間デザインとします。
- ・手触りの良い素材や親しみのある材料を用いて、橋梁形状と調和する高欄・親柱のデザインとします。
- ・自然素材の風合いを活かした材料による暖かみのある舗装デザインとします。
- ・まちや水辺とつながる灯りのデザインとします。

04 | 橋詰のデザイン

- ・まちや水辺空間をスムーズに行き来でき、歩行者の回遊性を高める橋詰空間とします。
- ・橋詰と周辺の街路やまちが一体となった歩行者優先の空間デザインとします。

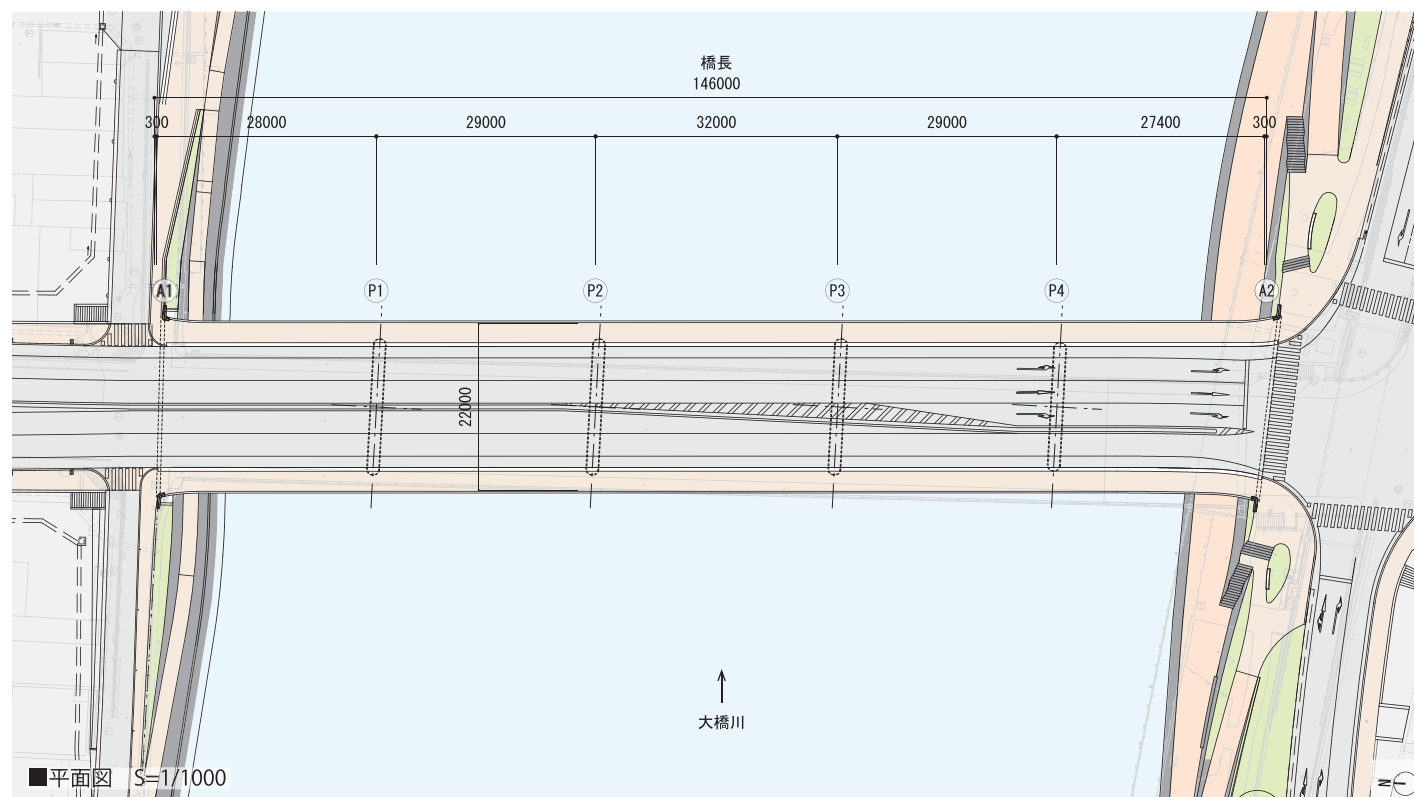
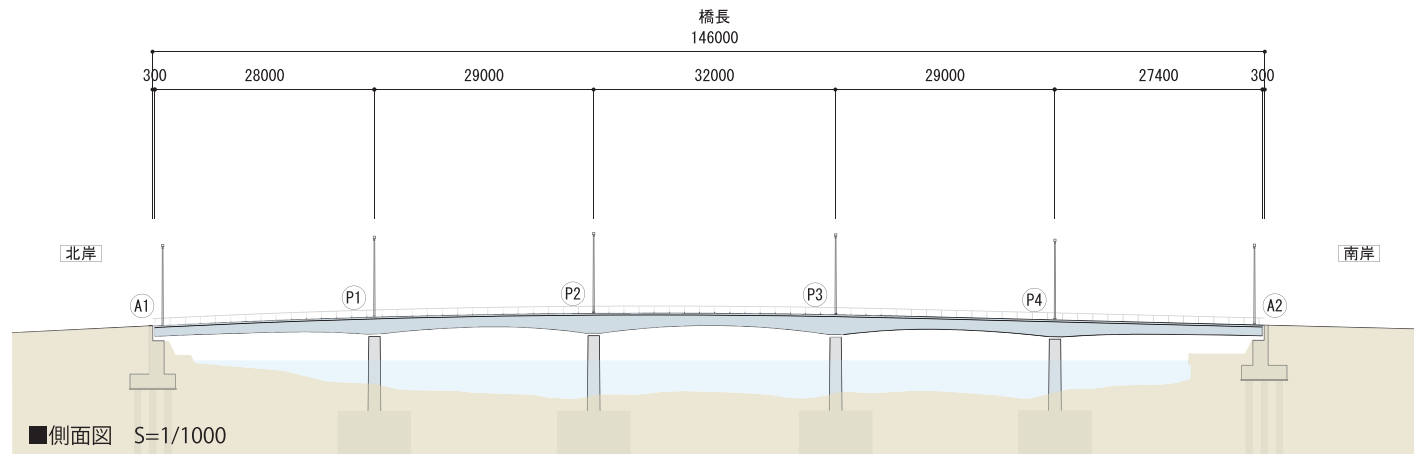
05 | 市民参加のデザイン

- ・愛着ある橋となるよう、計画段階から市民に参加してもらい取り組みを実施します。
- ・現地の見学会など、市民が参加できるイベントをおこないます。

橋のデザイン

全体形状

- まちや水辺の風景が主役となるよう、路面より上部に構造がない桁橋とします。
- 大橋川の伸びやかな風景を引き立てるよう、左右対称に近く、路面がフラットな側面シルエットとします。
- 歩行者や自転車が渡りやすいよう、路面勾配を5%未満と緩くします。



橋梁諸元

橋梁形式：鋼 5 径間連続合成箱桁橋

橋 長：146.0m

全 幅 員：22.0m

歩道幅員：3.0m

縦断勾配：5.0% 未満

断面形状

- 大きな張り出しと張り出しを支える一定間隔の支持部材（ブラケット）による断面形状とします。
- 張り出しにより橋脚幅を小さくすることで、まちなみになじむ大きさとします。
- 松江の雰囲気合った繊細な印象のブラケットとします。

橋脚

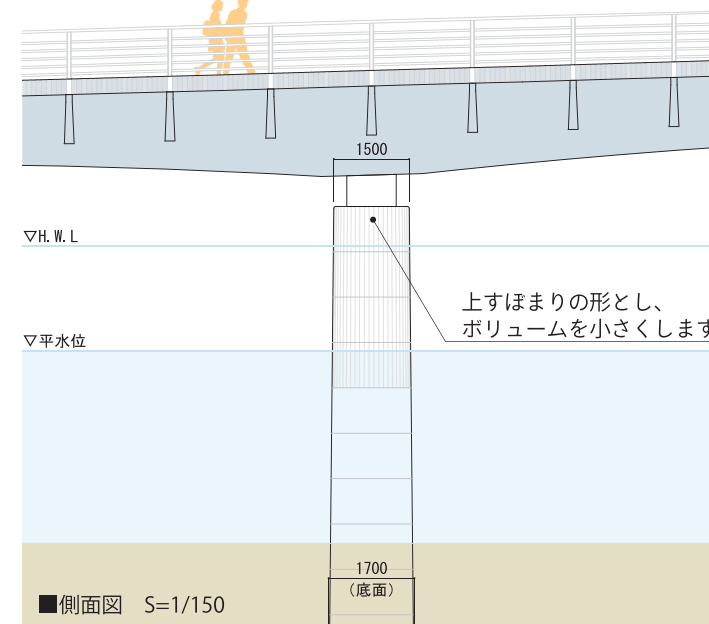
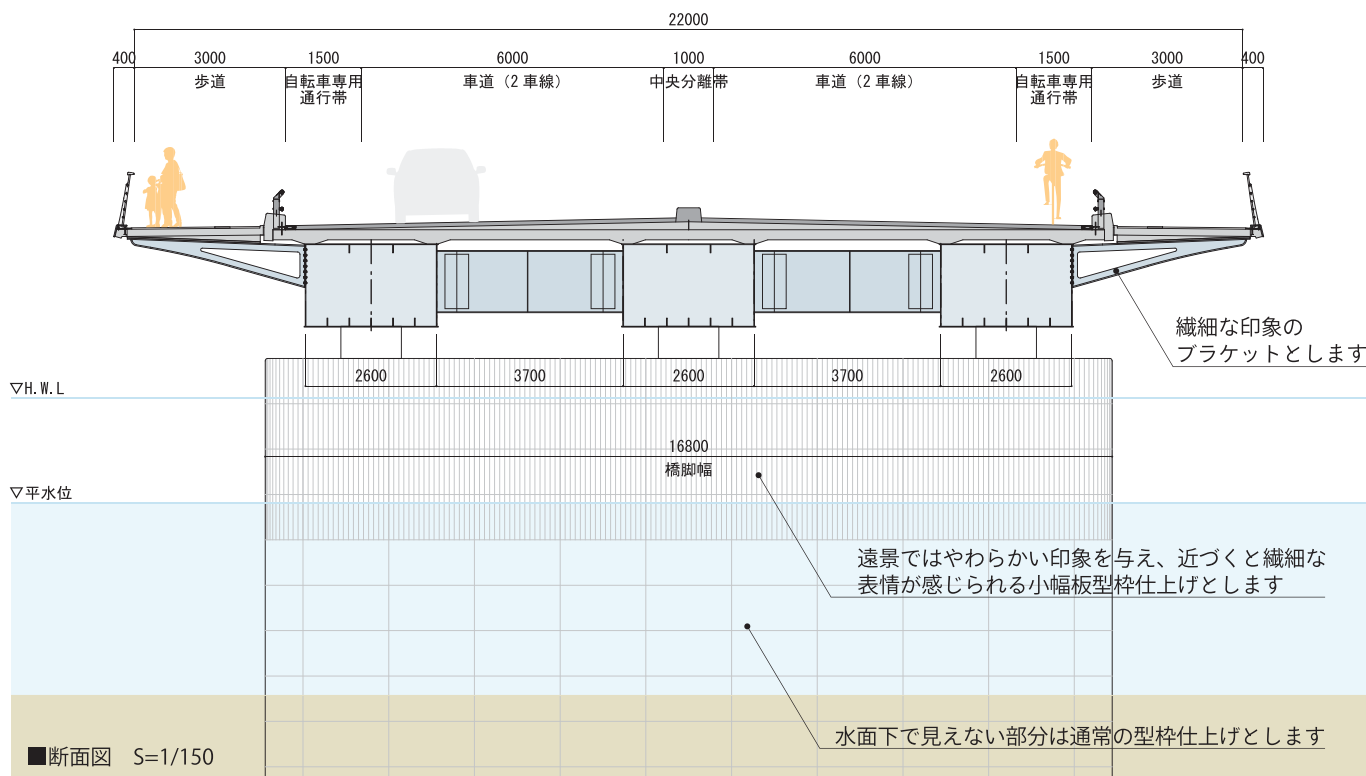
- 伸びやかな主桁の曲線を引き立てるよう、シンプルでスリムな橋脚とします。
- 遠景ではやわらかい印象を与え、近づくと繊細な表情が感じられる小幅板型枠による表面仕上げとします。



張り出し部と橋脚のイメージ



小幅板型枠による表面仕上げ



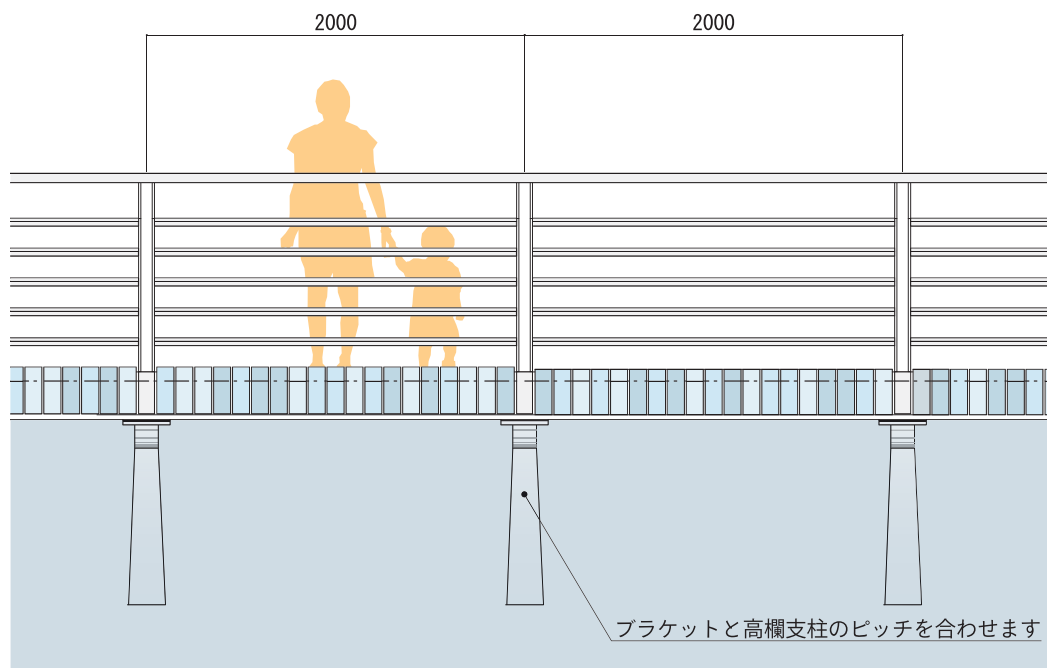
張り出し部のデザイン

- 2m ピッチの穴あきブラケットにより、歩道の張り出しを支える構造とします。
- 張り出しを支えるブラケットは眺める場所や時間帯によって異なる表情を楽しめるデザインとします。
- 連続した穴あきブラケットによる張り出しが、近景の繊細な印象をつくります。

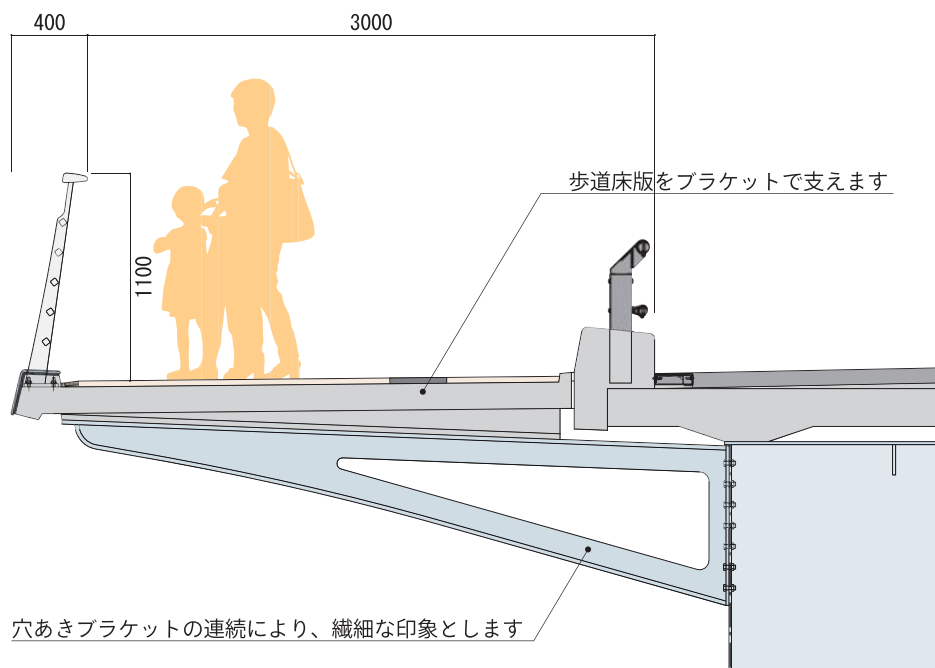


■張り出し部イメージ検討のための部分模型 S=1/100

■側面図 S=1/40



■断面図 S=1/40



色彩

- ・桁本体とブラケットは同じ色とし、松江市景観計画の基準を満たしつつ、風景になじみやすい色の中から、現況の新大橋や水辺を連想させる青系とします。
- ・既存の新大橋や大橋川に架かる橋の高欄は無彩色系の明るい色が多いことから、大橋川の風景になじむように、明るいグレー（銀鼠^{ぎんねず}）とします。

候補色の例

 びやくぐん 白群	 あいじろ 藍白	 あさはなだ 浅縹	 現況の新大橋塗装色 (2009年塗り替え:5PB 6/2)
---	--	---	--

→最終的には現場に準備した塗装サンプルを確認し、市民参加により決定します。

色彩イメージ例（候補色：白群を用いて着色）



橋上空間のデザイン

- ・「安全で歩きやすく、どこでも佇みたくくなるような居心地の良い空間」とします。
- ・橋外から見ても「モダン」で「渡ってみたいくなる」仕掛けを盛り込みます。
- ・「親しみのある」素材を中心に、「長い年月を経ても見飽きない」バランスの良い組み合わせとします。



舗装

- 歩道舗装は自然石骨材の風合いを活かした脱色アスファルト舗装とし、全体として明るいベージュ系とします。
- 縁石は経年で汚れにくい自然石縁石とし、歩道空間の質を高めます。脱色アスファルトと相性の良い錆御影とします。
- 誘導ブロックはダークグレーなど、落ち着いた雰囲気をもちつつ、歩道舗装との輝度比を確保できる色とします。
- 自転車専用通行帯の路面表示はベージュ系の一部表示など、歩道舗装と相性が良く、空間の統一感をもたらす色とします。自然石骨材を利用したすべり止め樹脂舗装とします。



※誘導ブロックと自転車専用通行帯の色・仕様については、関係機関協議により決定します。

地覆

- 大橋川の風景と調和し、利用者が親しみを感じて渡りたくなる仕掛けとなり、橋に愛着が持てるよう、島根の風土が生み出した伝統技術によるタイル仕上げとします。
- 素材のもつ色むらを活かすよう、濃淡を混合して並べることとし、橋全体としては桁・高欄・舗装などとも相性が良い、明るい青系のイメージとします。

歩車道境界

- 歩車道境界は、4m ピッチで地覆のタイルと同仕様・同色のタイル仕上げとし、フットライトを埋め込みます。
- 車両用防護柵はシンプルなスチール製とし、主張しない落ち着いたダークグレーとします。

タイルの色サンプル



高欄

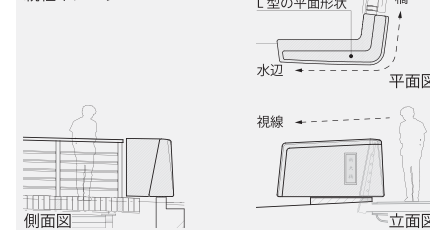
- シンプルで透過性の高いスチール製の支柱・ビーム（横棧タイプ）とします。
- もたれかかって佇めるように、やわらかい形状で手触りのよい表面仕上げの铸铁製トップレールとします。
- 大橋川の風景に合った明るいグレーとします。

親柱

- 水辺への視線を妨げず、橋から水辺に人の流れをつなげるL型タイプとします。
- 高欄トップレールと同じ铸铁製とし、高欄と相性がよく、落ち着いたダークグレーとします。
- 親柱全体が浮かび上がる演出照明とします。



親柱イメージ



照明

- 車道照明はシンプルなスチール製のテーパーボールにコンパクトな灯具とし、背景に溶け込む落ち着いたダークグレーとします。
- 歩道部はポツポツとした灯りが水辺や松江大橋へとつながるよう、歩車道境界のコンクリートにフットライトを4mピッチで埋め込みます。
- どちらも温かみのある色のLEDとします。



橋詰のデザイン

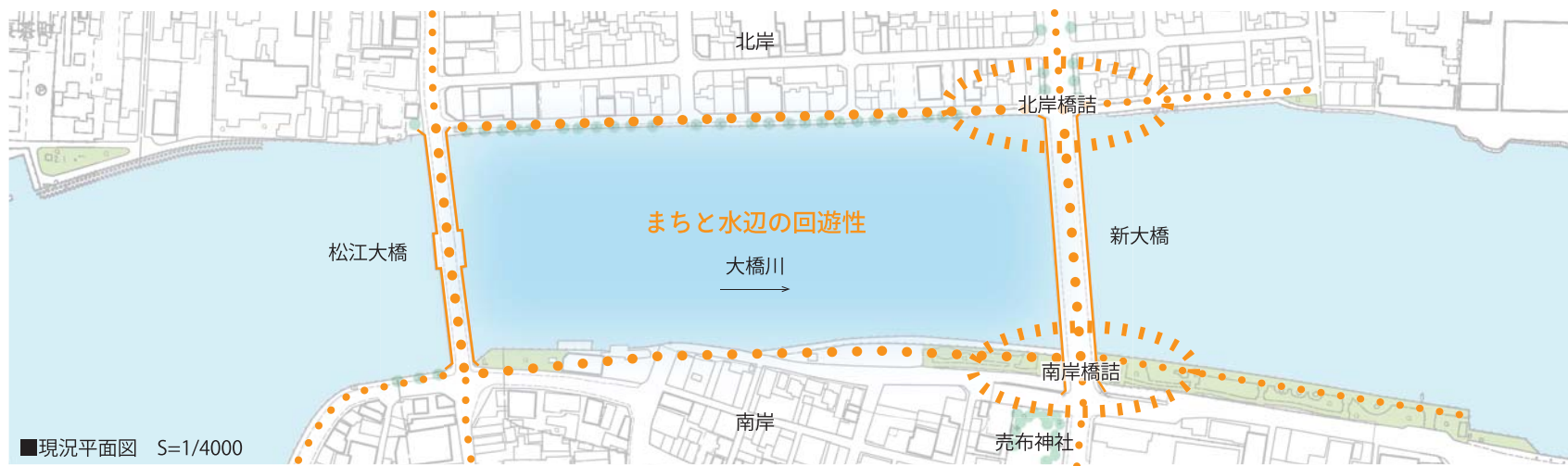
- ・まちと水辺の回遊性を高め、まち全体の魅力をより高める橋詰空間とします。
- ・座って橋と水辺の風景を眺められるような溜まり空間をつくります。
- ・橋詰と周辺の街路やまちが一体となった歩行者優先の空間デザインとします。

まちと水辺の回遊性

北岸の特徴

(東本町)

- ・川に沿った町割や古くからの建物を残しながら、比較的落ち着いた雰囲気のお店が建ち並んでいます。
- ・堤防道路の幅員が狭く護岸も低いため、まちと水辺が非常に近く感じられます。
- ・川沿いに柳の並木が植えられています。



南岸の特徴

(白濁本町・和多見町)

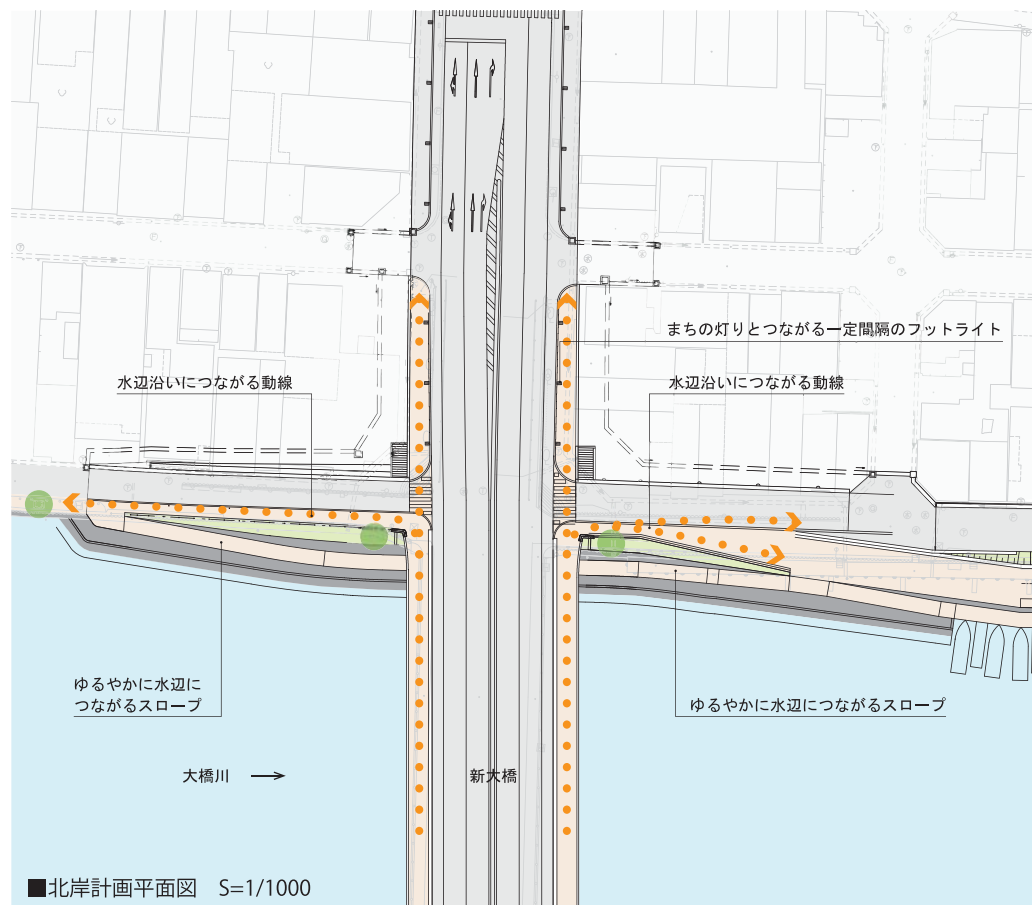
・伊勢宮町)

- ・かつての風情を残しながら、新しい現代的な店舗も並んでいます。
- ・北岸と比べ堤防道路も広く、港湾用地があるため、まちと川の間水辺のオープンスペースがあります。
- ・売布神社の緑や水辺の緑地など緑豊かな空間が広がっています。



北岸橋詰

- まちや水辺沿いにつながる動線を確保するため、階段やスロープを設置します。
- 背後の土地利用に合わせた橋詰空間とします。
- 堀川沿いの賑わいとつながる街路空間とします。



南岸橋詰

- まちや水辺沿いにつながる動線を確保するため、階段やスロープを設置します。
- 座って休める橋詰空間とします。
- 売布神社の緑と一体となった、落ち着きがあり、まちの賑わいとつながる街路空間とします。



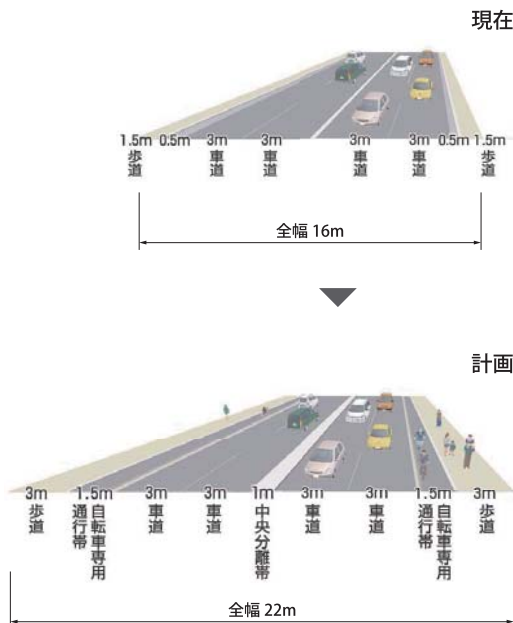
架け替えについて

事業概要と検討経緯

架橋から 80 年以上が経つ新大橋は、耐震性向上と老朽化対策に加え、歩行者・自転車の安全性・利便性向上のために架け替えることとなりました。三代目となる新しい新大橋は、松江を代表する大橋川の風景にふさわしいデザインとすることはもとより、関連する河川改修と水辺空間整備との一体的な整備により、市中心部の回遊性をより高め、大橋川沿いの魅力向上に資する橋にすることが求められました。

そこで、有識者および関係機関による新大橋景観検討委員会（計 5 回）に加えて、パブリックコメントや市民意見交換会を行って、様々な検討を重ねてきました。

市民参加の取り組みを通して、皆様に見守っていただくとともに、末永く愛される橋となるように事業を進めていきます。



これまでの新大橋

初代新大橋 / 1914年（大正3年）完成



拡幅前の第2代新大橋 / 1934年（昭和9年）完成



現在の第2代新大橋 / 1971年（昭和46年）に拡幅



スケジュール

都市計画決定	3.29	2016	
第1回景観検討委員会	12.26		市民意見交換会の様子
第2回景観検討委員会	2.16	2017	
第3回景観検討委員会	6.8		3.21 - 4.21 パブリックコメント (基本方針に対する意見募集)
	7.28		市民意見交換会
		2018	
	1.15 - 2.19		地元説明会
	2.27		都市計画事業認可
第4回景観検討委員会	3.14		
第5回景観検討委員会	9.6		
景観検討委員会の様子		2019	
	5.18 - 5.26		ホーランエンヤ
			工事着手



市民意見交換会の様子

市民意見交換会

地元説明会

都市計画事業認可

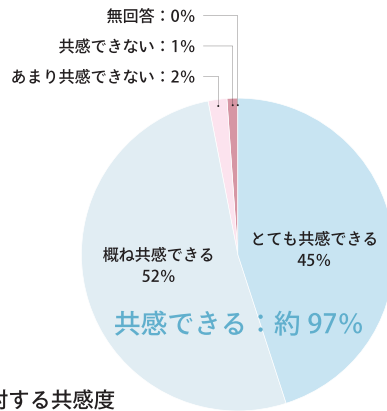
景観検討委員会の様子

ホーランエンヤ

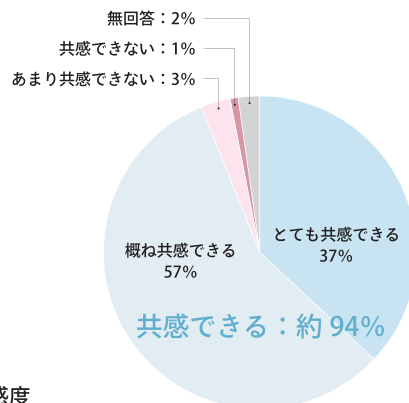
工事着手

パブリックコメントの結果

2017年に新大橋整備基本方針に対して、パブリックコメント（意見募集）を実施しました。回答総数は733件で、90%を超える方々から「共感できる」と回答をいただきました。



テーマとコンセプトに対する共感度



設計方針に対する共感度

みんなで作る・みんなでつかう橋づくり

工事期間中も新大橋の整備に関わりを持ち、末永く愛される橋となるよう、市民参加の取り組みを実施します。市民参加に関してはパブリックコメントで頂いたご意見でも関心が非常に高く、市民意見交換会での投票結果を踏まえ、以下の3つの市民参加の取り組みを実施する予定としています。

今後も新大橋にふさわしい取り組みの検討を進めていきます。

予定している取り組み（案）

1. 現場見学会・情報発信

- ・現場見学会や仮囲い（工事用フェンス）を利用した情報発信
- ・現場に候補色の塗装サンプルを準備し、市民参加により桁本体の色を決定

2. 材料寄付

- ・地覆のタイルにかかる費用について寄付を募り、橋づくりに参加できる取り組み

3. 既存橋の活用

- ・現在の親柱に設置されている青銅製の橋名板を新しい親柱に再利用
- ・既存橋の撤去前に、これまでの感謝を込めたイベントを開催
- ・現在では採用されない歴史的価値の高いゲルバー桁やローラー支承、松杭などを保存・展示



新大橋デザインノート

https://www.pref.shimane.lg.jp/infra/road/kikan/matsue_kendo/sinoohasi/



発行：島根県
発行年：2019年12月

この冊子は、有識者で組織する新大橋景観検討委員会ならびにパブリックコメントや市民意見交換会など市民の皆様のご意見を伺いながら決定した新大橋の設計・デザインについてとりまとめたものです。
なお、本冊子に使用しているパースの背景は、作成時の建物等の状況を基にしたイメージです。

[島根県都市計画課]
〒690-8501
島根県松江市殿町8番地
Tel：0852-22-5210（代表）
Fax：0852-22-6004
Email：toshikei@pref.shimane.lg.jp

[島根県松江県土整備事務所]
〒690-0011
島根県松江市津田町1741番地1
Tel：0852-32-5719（代表）
Fax：0852-32-5763
Email：matsue-kendo@pref.shimane.lg.jp

